

山江村（熊本県山江村）

R5 補正
R6 当初

72

背景・課題

山江村では特産のやまえ栗を中心とした村づくりを進めている。今後、さらにやまえ栗の品質を向上させる一環として、せん定枝のバイオ炭化による土づくりや有機農業に適合した農薬への切り替え等、環境配慮型農業の導入を行っている。今後は栗以外の農作物にも広がっていくことで、農産物の高付加価値化を目指している。

また、高齢化・人口減少による担い手不足や栽培面積の減少により栗の収穫量が減少。これらの問題解決のため、スマート農業機械等の導入による作業省力化が課題となっている。



山江村

構 成 員

山江村、球磨地域振興局、熊本県立大学、まほらファーム、生産者

品 目

くり

成果目標と主な取組内容

- 有機資材の導入
- 栗のせん定枝のバイオ炭化及び農地施用
- ラジコン草払機・自走式堆肥散布機の導入に取り組み、化学肥料の施用量低減、バイオ炭の施用による炭素貯留、省力化の検証を行い、技術を確立する。



「山江村グリーンな栽培体系研究検討委員会」の発足



グリサポ勉強会の実施（月1回程度）

←専門家による座学 →小学生向けワークショップ



栗せん定枝回収およびバイオ炭生成



ブレンドキャスト（自走式）を使用し、バイオ炭と堆肥を混合・施肥している様子



普及に向けた取組

環境に配慮した農業生産を行うにあたって、栽培品目である栗から出るせん定枝をバイオ炭として活用し、その効果を検証していく過程を村HPやSNS・ケーブルテレビにて公表、勉強会の実施、報告書を配布するなど地域への普及を図る。

山江村役場企画調整課

問い合わせ先

電話：0966-23-3111（代表） FAX：0966-23-3114
Mail：kikaku@vill.yamae.lg.jp